

# 大砂土東小学校 学校だより 【R7学校評価特別号】



保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に対しまして、一年間ご理解ご協力いただきありがとうございました。

今年度を振り返り、来年度以降より充実した教育活動を行っていくために実施した「令和7年度学校評価アンケート」にご回答いただきましたことに感謝申し上げます。

ここでは、児童アンケート・保護者アンケート結果の中から、特に肯定的評価が多かったものまたは少なかったものを中心に報告いたします。なお、全てのアンケート結果については、別紙にて掲載しておりますのでご覧ください。

※「当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」「分からない」の5段階で評価。  
※ 肯定的評価…「そう思う」の割合と「だいたいそう思う」の割合を合わせたもの

## 1 児童アンケートの結果から

### ○特に肯定的評価が多かった項目について

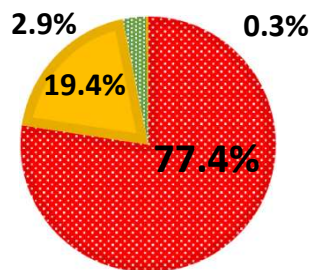
本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、全教員が日々の教材研究に力を注いでいます。

学校課題研修では、研究テーマを「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～問いを軸として～」と設定して、毎週（月によっては隔週等）木曜日に研修を実施しています。学習者である児童が主体となった授業づくりができるよう、4パートに分かれ、研修に励んでいます。

また、日頃から、児童の表情、声色、声のかけ方等、児童への関わり方に気を付けることで、いつでも相談しやすい関係づくりに努めています。

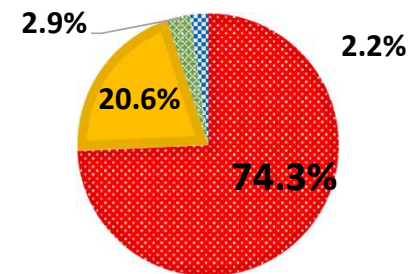
先生は、自分で考えたり友達と話し合ったり、発表したりする時間をつくってくれますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる  
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



先生は、友達とのトラブルがあったとき、解決のために協力してくれますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる  
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



# Ⅰ 児童アンケートの結果から

## ○特に肯定的評価が多かった項目について

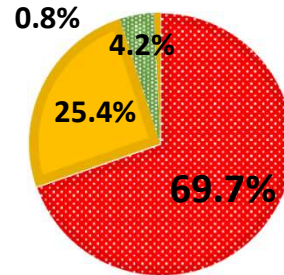
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業を組み立てる際、タブレットは児童の学習道具のひとつです。

調べ学習等だけでなく、例えば、国語のインタビューの学習において、インタビュー動画を撮影し、繰り返し確認することで、聞き取りメモの取り方の工夫に生かしたり、文章の推敲（修正、削除、移動、複写等）が容易になり、よりよい文章にしようという意欲の向上にもつながります。

児童がタブレットを使うことで、学習の理解を深めたり、情報を共有しやすくなり、意欲を向上させたり等、教育の質的向上を図れるように努めています。

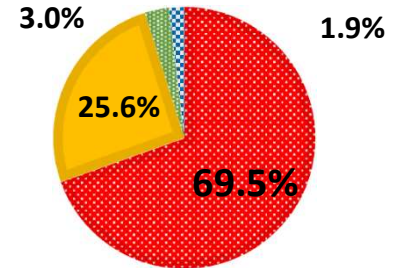
先生は、タブレット等コンピュータを使った授業をしてくれますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



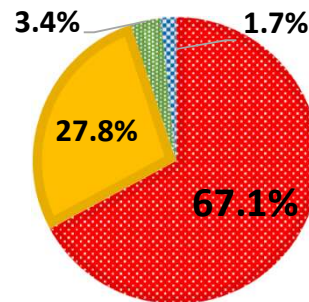
先生は、悩みごとや相談があるときには、丁寧に話を聞いてくれますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



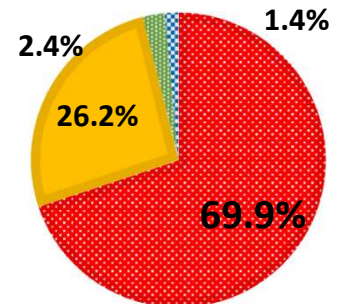
先生は、一人ひとりに勉強を分かりやすく教えてくれますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



先生達は、学習しやすく過ごしやすいよう、教室等を整えてくれますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



本校の教育相談体制のひとつとして、毎学期に一度「心と生活のアンケート」（3～6年生）、簡易アンケート（1・2年生）を実施しています。担任がアンケート内容を確認し、児童と面談を行っています。また、9月の上旬には、2週間の「教育相談週間」を設定し、担任が学級児童全員と面談を行っています。

子どもたちの学びの場である教室や特別教室だけでなく、廊下や階段等をきれいに保つことで、児童が気持ちよく、落ち着いて学校生活を送ることができるように努めています。毎月10日には「安全点検」を実施し、児童はもとより、本校で働く教職員が安全に業務を遂行できるよう、全教職員で担当箇所を決め、点検しています。



## 1 児童アンケートの結果から

### ●肯定的評価が少なかった項目について

児童の読書については、学校運営協議会でも話題となりました。学校では、読書の時間を活用して本を借りる機会をつくったり、図書委員や学校図書館司書、図書ボランティア等を中心とした、読書に関わるイベントを開催したりして、児童が本に触れる機会をつくっています。

次年度は、水曜日朝の会の前に「**読書タイム**」を設定し、より児童が読書に親しむ機会をつくります。また、その時間は、できる限り教員も読書をするので、大人も子どもも「読書をしよう」とする雰囲気や意識をつくっていきます。

地域の行事への参加については、習い事等忙しい児童にとって難しい課題です。学校では、生活科や社会科、総合的な学習の時間等において、地域の行事に込められた願いなどを理解できるようにしていきます。

## 2 保護者・地域の方のアンケートの結果から

### ○特に肯定的評価が多かった項目について

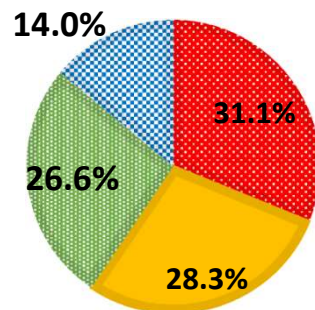
今年度は、大和田小学校との分校記念となる年でした。それに伴い、PTA分校特別委員会主催の「花火ナイト」や分校記念冊子の刊行、児童会主催の「大砂土東小ありがとう集会」や「一緒に遊ぼう会」「大砂土東小クイズ大会」、また「分校記念天体観望会」を実施しました。花火ナイトは約2000名、天体観望会は約500名の方に参加していただきました。

今年度に引き続き、次年度は、開校95周年となる記念の年です。子どもたちがさらに意欲的に学校行事に取り組めるようにしていきます。

9月には、落雷の影響で空調設備等が破損し、休校となる日もありました。そのため、日時を変更して学校公開を実施しました。学期毎の参観・懇談にも、多くの保護者の皆様にご来校いただいています。

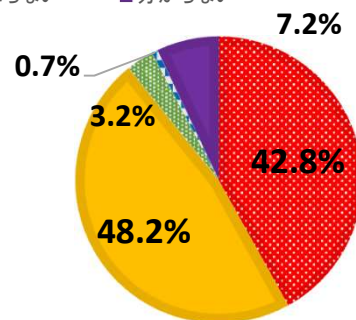
あなたは、家や学校でよく本を読みますか。

■当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない



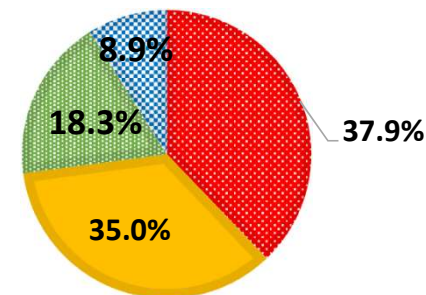
学校は、子どもたちが意欲的に学校行事に取り組めるようにしていますか。

■当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない  
■当てはまらない ■分からない



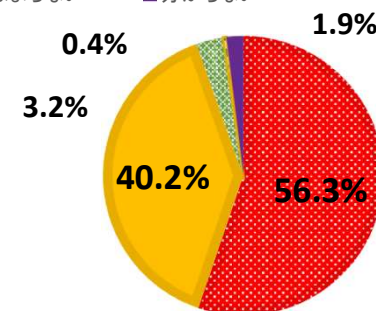
あなたは、地域の行事に進んで参加していますか。

■当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない



学校は、授業参観や学校公開等で教育活動を積極的に発信していますか。

■当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない  
■当てはまらない ■分からない



## 2 保護者・地域の方のアンケートの結果から

### ○特に肯定的評価が多かった項目について

右の項目は、昨年度に引き続き、肯定的評価が高い結果となりました。

お子様が友達とよりよい関係を築くためには、ご家族からの愛情が大きな支えとなります。引き続き、お子様のよいところを認め、励ましていただきますようお願いいたします。

学校では、生活委員会の児童が中心となり、廊下歩行の呼びかけやあいさつの励行等を行っています。児童が主体となって、楽しく安全な学校生活をおくることができるよう、今後とも教職員一同支援・指導していきます。

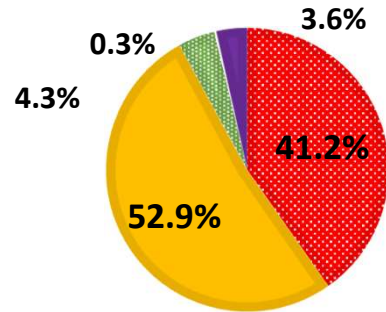
### ●肯定的評価が少なかった項目について

読書の項目については、児童、家庭、教職員アンケート調査全て数値が低い傾向です。ご家庭におかれましては、お子様の読書週間を育てるために、ご家族が読む姿を見せることも効果的です。長時間でなくとも、お子様と一緒に本を読んだり、そばで読書したりする時間をつくってみてはいかがでしょうか。

いじめ等のトラブルへの対応について「分からない」が約30%を占めている結果となりました。学校では、引き続き、いじめの早期発見・対応を継続していき、その取組の様子（例えば、心と生活のアンケートを実施後、アンケート内容を元に、子どもたちの悩みや困りごとを面談等を通して聴いている様子等）を学校だより等で発信し、周知していきます。

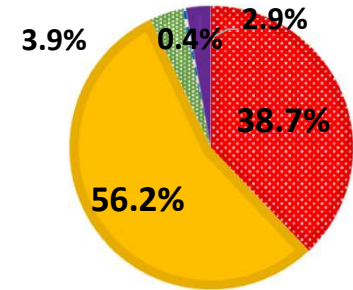
子どもたちは、友達と仲良く協力して学校生活を送ることができていますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない  
■ 当てはまらない ■ 分からない



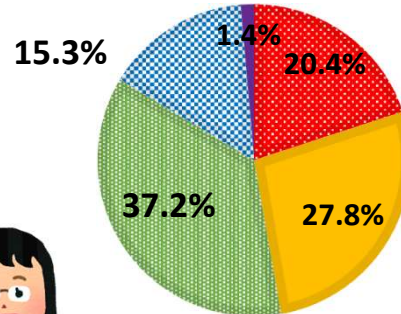
子どもたちは、きまりを守って安全に学校生活を送ることができていますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない  
■ 当てはまらない ■ 分からない



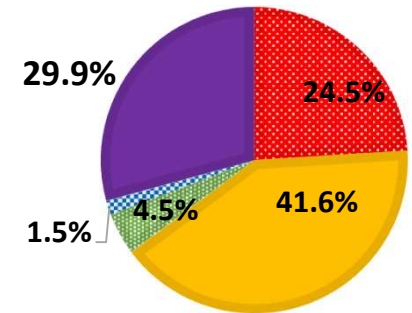
子どもたちは、学校や家庭で読書をしていますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない  
■ 当てはまらない ■ 分からない



学校は、子どもたちにいじめや喧嘩などのトラブルがあった場合、適切に対応することができていますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる  
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない  
■ 分からない



## 2 保護者・地域の方のアンケートの結果から

### ●肯定的評価が少なかった項目について

子どもたちの学習状況に応じた授業について「分からない」が約19%を占める結果となりました。「学校は、タブレットなど、コンピュータを効果的に使って授業を行っていますか」という質問項目でも、「分からない」が、約15%という結果でした。

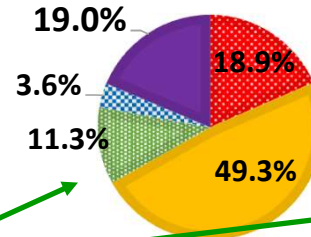
この結果は、児童アンケートと相反する結果です。授業参観や学校公開等を活用し、保護者の方に、子どもたちの学びの姿をお見せすることができるようにしていきます。また、学年だよりや学校だより等も活用して情報発信していきます。

「あいさつ」についても、読書同様、学校運営協議会で話題となりました。子どもに「しやすい環境」を作ることや、「できたとき」を必ず認めること、あいさつは「コミュニケーション」なので、性格で差が出やすいことを大人が認識することなどが意見として出されていました。

学校では、まず教職員から学年学級関係なく積極的に子どもたちに声をかけていきます。子どもとの関係をつくることで、ハードルが下がり、あいさつする回数を増やしていきます。そして、「素敵なあいさつだね」などの前向きな反応をしていくことで、あいさつの習慣をつくっていきます。

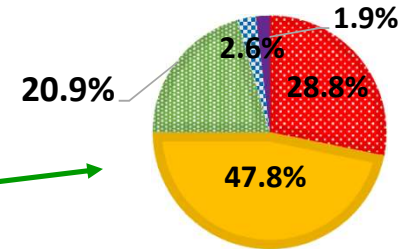
学校は、一人ひとりの学習状況に応じた分かりやすい授業を行っていますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない  
 ■ 当てはまらない ■ 分からない



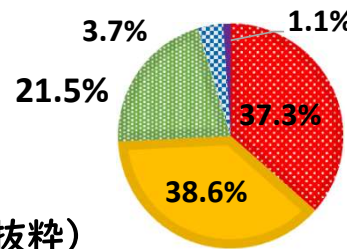
子どもたちは、自分からあいさつを行うことができますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない  
 ■ 当てはまらない ■ 分からない



子どもたちは、学校や家庭で進んで運動していますか。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない  
 ■ 当てはまらない ■ 分からない



運動については、児童アンケート、保護者・地域の方のアンケートともに「あまり当てはまらない」回答が多い結果となりました。

学校では、子どもたちが楽しいと感じる体育学習を充実させていきます。また、運動委員会を中心に、体力アップキャンペーンを実施して、子どもたちが運動する機会を増やしていきます。また、休み時間に、教員も児童と一緒に外遊びする機会も、出来る限り増やしていきます。

## 3 学校評価アンケート結果からみられた、課題に係る方策等 (抜粋)

●「学校は、子どもたちのことで悩みや相談がある場合、丁寧にお話をきくことができるか」「学校は、児童の事故防止に努め、施設設備の安全に配慮しているか」などの項目について、「分からない」の回答率が高かった。学校が常時行っている活動を、学校だよりや学校ホームページを活用して、より情報発信していく必要がある。

●「地域や保護者と連携協働した教育活動」については、例えば、まちたんけんや七輪体験、家庭科のソーイングボランティアなど、学習活動や学年行事等に保護者や地域の方の参加を呼びかけたり、保護者等が来校されたら進んで声をかけたり、毎日の連絡帳や電話連絡等で細やかに情報共有したりしていくとよい。

※この結果を次年度以降の教育活動に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。